

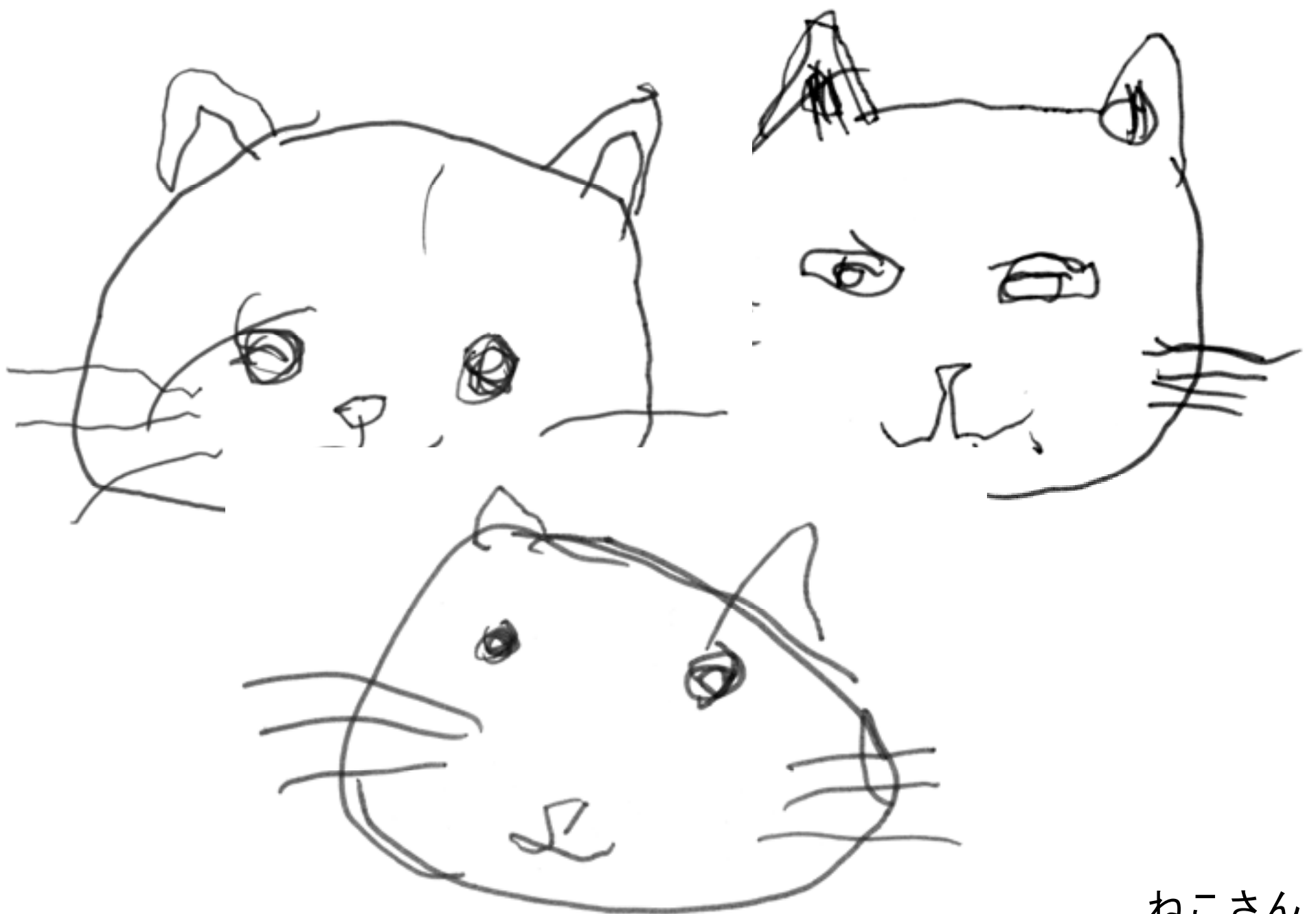
編集人：ぶくぶくの会 〒564-0025 吹田市南高浜町1-17-2A (総務)  
TEL 06-6317-5598、FAX 06-6317-0936 Mail: so-mu@puku-2.com URL: www.puku-2.com  
代表：馬垣安芳 編集長：上田かおり 1部200円  
年間購読料：個人会員2000円 広報会員(3部)5000円  
法人会員1口(5部)10000円 賛助会員(1部)10000円  
振替口座00940-0-161341  
「まねき猫通信」



もくじ

とくしゅう ぎゃくたいぼうしほう と く  
特集：虐待防止法とその取り組み-2  
りれい-えっせい せいねん こうけんせいど もんだいてん さのたけかず  
リレーエッセイ：成年後見制度の問題点-佐野武和-4  
みんいむし せいとう せいけん いじ いしづかなおと  
民意無視する政党は政権を維持できない-石塚直人-5  
なかま おも しせい ため とよしま たいち  
仲間のおもいを市政につなげる為に-豊嶋太一-7

題字：  
塩澤 文男  
(しおざわ・ふみお)



ねこさん

絵：きーちゃん (奏海の杜)

トリの眼・ムシの目・ニャンコの目

「北海道舊(旧)土人保護法」は1900(明治32)年に制定されて1997(平成9)年に廃止された。保護とは名ばかりで、アイヌ民族の土地を奪い、漁業・狩猟を禁止し、アイヌ語を否定し日本語を押しつけ、アイヌ固有の習慣風習を厳禁して日本風氏名を強要した。こんな悪法が百年近くも実効であった事実を、日本の国民の何%が知っているだろうか▼松井一郎とてご多分に漏れず「北海道舊土人保護法」の存在を知らなかったに違いない。沖縄県高江のヘリパット工事を阻止するために抗議・座り込みをしていた市民に対して「この土人が！」と罵倒した大阪府警所属某の言動に対して「表現は不適切だが、しっかりと職務を遂行している姿に敬意を表し、労を憐れたい」旨を松井は表明した。現大阪府知事に政治家としての資質があるかないかは別として、また、本人が「土人」という日本語の意味を理解できるのかどうかはさておき、「土人」という音韻や言葉の響きが心地良いか否かで、この男に問うてみたい衝動に駆られる▼明治以降「土人」と呼ばれ続けた人々は誰であったのか? 「土人」の呼称で貶められ、人権を蹂躪され続けたのは何故か? そんな想像力の欠片すら持ち合わせていない夜郎自大が「知事」…大阪の恥・松井を即刻更迭せよ! (ハギ)

大阪の恥・松井を即刻更迭せよ! (ハギ)

# 虐待防止法と虐待防止の取り組みについて - 人としての尊厳とは？

## 対等な人間関係づくりこそ重要

社会福祉法人 花の会 理事長 山田義昭



山田義昭さん

10月20日、「虐待防止法と虐待防止の取り組みについて」研修会が行われました（主催：大阪障害者自立生活協会）。

第1部は、「人としての尊厳とは」と題して山田義昭さん（社会福祉法人花の会 理事長）の講演、第2部は、ピープルファーストジャパンプン代表・中山千秋さんが「虐待に対する当事者の取り組み」について報告しました。

古田朋也障大連議長は、最後に「もはや虐待は、どここの事業所で起こっても不思議ではありません。どこでも起こりうることを頭に置いて対策を立てるべき」と締めくくりました。講演・報告の内容を紹介いたします。

（文責・編集部）

### 虐待とは？

「障がい者虐待防止法」は、2011年6月に成立し、翌12年10月から施行されました。障がい者に対する虐待が尊厳を害するものであり、「虐待の防止、早期発見、保護や自立の支援、養護者に対する支援を行うことにより障がいの権利利益の擁護に資すること」が目的です。

たばこの火を押しつける、熱湯をかけるなどの暴力は無論、熱いものや辛いものを無理矢理食べさせることも含みます。正当な理由のない拘束も虐待です。

② 性的虐待とは、わいせつな行為をすること、させることです。性的暴力、性的行為の強要は無論、性器や性交・ポルノ

### 高槻市における障がい者虐待の状況

2014年には「障がい者権利条約」を批准し障がい者制度改革が加速され、「合理的配慮の提供」も明文化されました。しかし、同法施行後も深刻な障がい者虐待事件が発生しており、「虐待はどこでも起こりうる」ことを前提に、「人としての尊厳を守る」という観点で、虐待防止の考え方や方法について考えてみたいと思います。

虐待防止法は、虐待を①養護者による虐待、②障がい者福祉施設従事者等による虐待、③使用者による虐待と定義しています（※使用者とは、障がい者を雇用する事業主または事業の経営担当者その他を指します）。また、障がい者虐待を5類型に分類しています。

① 身体的虐待 - 殴る・蹴る・

2015年度の障がい者虐待の状況

	相談・通報・届け出件数	虐待と判断した件数
養護者による虐待	32	15
福祉施設従事者等による虐待	8	3
使用者による虐待	2	0
合計	42	18

（高槻市・年間）

雑誌や映像を無理矢理見せることも含みます。

③ 心理的虐待は、怒鳴る、のしる、悪口を言うなどの暴言や拒絶的な対応、差別的な扱いで自尊心を傷つけることです。

④ ネグレクト（介護や世話の放棄・放任）は、食事を与えない、衰弱させるような減食、長時間

の放置に加えて、治療や衛生管理（通院・着替え・入浴・掃除など）を怠ることです。

⑤ 経済的虐待は、給料を規定どおり支払わない、本人の同意なしに財産や年金、賞金を使ったり勝手に運用し、本人が希望する金銭の使用を理由なく制限することです。

「氷山の一角」理論

虐待防止のために

対策を立てる上で有効なの

は、氷山理論です。氷山は、海面上に見えているのは一部だけで、海面の下にその何倍もの氷が隠れていることに喩えた考え方です。交通事故でも1件の交通事故の背後には、299件の「ひやりはつと」があると言われています。この「ひやりはつと」をどれだけ減らしていけるかが、虐待防止にも重要です。

グループホーム（以下GH）の世話人は、職員による虐待の危機をどの程度感じているのでしょうか？ ほとんどの人は「大丈夫」と考えているのではないのでしょうか？ 世話人が気づいていないだけの場合が多いので、虐待の芽を敏感に見抜く力と組織体制が重要です。

どうすれば虐待を防げるのか？を議論すると、まず出てくるのが、職員待遇の改善です。

# イヤなことはイヤと言えるなかまづくりを

しょうだいいんぎちよう ふるとともや  
障大連議長 古田朋也

施設で虐待が起こると、加害者の職員を処罰しておしまい、というふうな蓋をされがちです。しかし、そもそも障がい者支援に関わろうと思っていたはずの職員が虐待をすることで追いつめられていった背景や、施設の体質など構造的な問題を突き詰めない限り、虐待はなくなりません。

昨今の制度の枠組の中で、当事者を「サービスを受ける利用者」として扱い、支援する側・される側という上下関係が生まれてきています。また集団活動の中ではひとりだけ特別扱いできないなどのルールが作られ、虐待にエスカレートしていく例もみられます。それでもルールを破る人に「お仕置き」が始まり、虐待に繋がっていった例もありました。

そうした虐待の芽に早く気がつく職員の資質が必要ですし、見抜く法人の体質や環境が必要です。また、障がい者がイヤなものはイヤとはっきり言えるなかまづくりやエンパワメントも重要です。

虐待は、いつ、どここの事業所で起こっても不思議ではなく、どこでも起こりうることを頭に置いて対策を立てるべきです。せっかく施設を出て地域で普通の暮らしを始めたのに、虐待が起こる閉鎖的な環境にならないように頑張りましょう。

給料を上げたり職員数を増やして支援の質を上げる解決案です。職員研修を強化し、職員教育を積み重ねることも重要です。また、職員のメンタルヘルスの維持や支援の見直しなどもあります。これらは全て実施しなければならぬ対策です。

しかし、これで虐待がなくなると考えるのは間違いです。私は、GHに住んでいる利用者と世話人が「同居人」として付き合う心構えのようなものが、最も重要だと考えています。要するに人間関係づくりです。人間

関係は変化します。良くもなれば悪くもなります。どうすれば良くなるのか？ どんな場合に悪化するのか？ そうした経験と議論を積み重ねていただきたいと思っています。

## 虐待を許さない！ 当事者の取り組み 私たちの意見をもっと社会に届ける

ピープルファーストジャパン代表 中山千秋

山田さんに続いて、ピープルファーストジャパン代表の中山千秋さんが、①山口県・大藤園の虐待事件、②津久井やまゆりの園の事件について、当事者の取り組みを報告しました。

①大藤園では、男性職員が

たく、「まちがったら殺す」と言っている職員の姿が映し出されていきました。他にも、施設長が机に足を投げ出して、携帯電話をいじりながら、当事者に肩を揉ませていました。

ピープルファーストは、2015年6月24日に第1回目の抗議行動に行きました。パングーからは10人、全国から40人が参加。下関市障害福祉の担当者と話した後、大藤園を訪問。理事長・施設長と話しました。

市は、2014年4月にビデオを

てから行っているのです、虐待がわかるはずありません。一方、大藤園では理事長と施設長が、次のように語りました。「(なかまは)変わりなく生活している。虐待をした職員は逮捕された。下関市から指導があつた。殴つたという職員はいなかった。施設の対応策としては、①虐待チェックシートを作る、②勉強会をする、③虐待調査のための第三者委員会をつくる、④利用者や保護者から話を聞く、アンケートをとる」などでした。

とところが、施設は、「虐待防止対策」として施設にカメラを16台もつけることにしていました。「当事者を監視するためではなく、職員を監視するため」

追悼集が開かれることになりました。集会で中山さんは、「こんな大きな事件が起きても障がいのある私たちの意見が聞かれることはありません。私たちの意見をもっと社会に届けなければいけません。みんなが心強く自信を持つて欲しいです」と訴えました。

と言っています。が、「カメラは刑務所のような。いらぬ」とその場で抗議しました。ピープルファーストメンバーからは、「なぜ当事者ではなく保護者に話を聞くのか？(当事者が)こわくて言えないのは当たり前。被害にあつた当事者から話を聞きたい」などの抗議がなされました。大藤園側の話で、当事者との話は全く出てきませんでした。当事者抜きでの話ばかりです。カメラの設置についても、「親が決めたから」という始末です。「なんでも親ですか!」と抗議しました。

聞き取りをしただけで、当事者には話を聞かず、「虐待があるかどうかわからない」と判断しています。施設の監査も電話し

追悼集が開かれることになりました。集会で中山さんは、「こんな大きな事件が起きても障がいのある私たちの意見が聞かれることはありません。私たちの意見をもっと社会に届けなければいけません。みんなが心強く自信を持つて欲しいです」と訴えました。

時の感想を次のように語っています。「親や役所の人に言われて行かされたやまゆり園で暮らしていたなかまは幸せだったのでしようか？ 私は施設を出て、地域で暮らして結婚もして幸せです。でもやまゆり園のなかまはまだ幸せを手に入れていません。それなのに殺されてしまったなかまのことを思うと辛

## やまゆり園事件 献花のための園訪問

次に津久井やまゆり園について報告されました。この事件を知った中山さんは、たいへんショックを受け、ピープルファースト大会in横浜で予定されていた内容の変更を全国の実行委員に訴え、横浜大会では

9月27日には、献花のためにやまゆり園を訪れました。その

ま